

# グラフで見る東海経済(2021年3月)

2021年3月26日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

# 今月の景気判断 ~新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直し基調

## 【今月のポイント】

- 1月の生産・輸出は前月比で増加したが、輸送機械の減少が影響し、このところ、生産、輸出が足踏み状態となっている。先行きについては、持ち直しが見込まれる。
- 賃金(12月)は、特別給与の落ち込みもあって2ヶ月ぶりに前年比で減少。
- 雇用、所得環境に弱い動きがみられる中、個人消費は持ち直している。

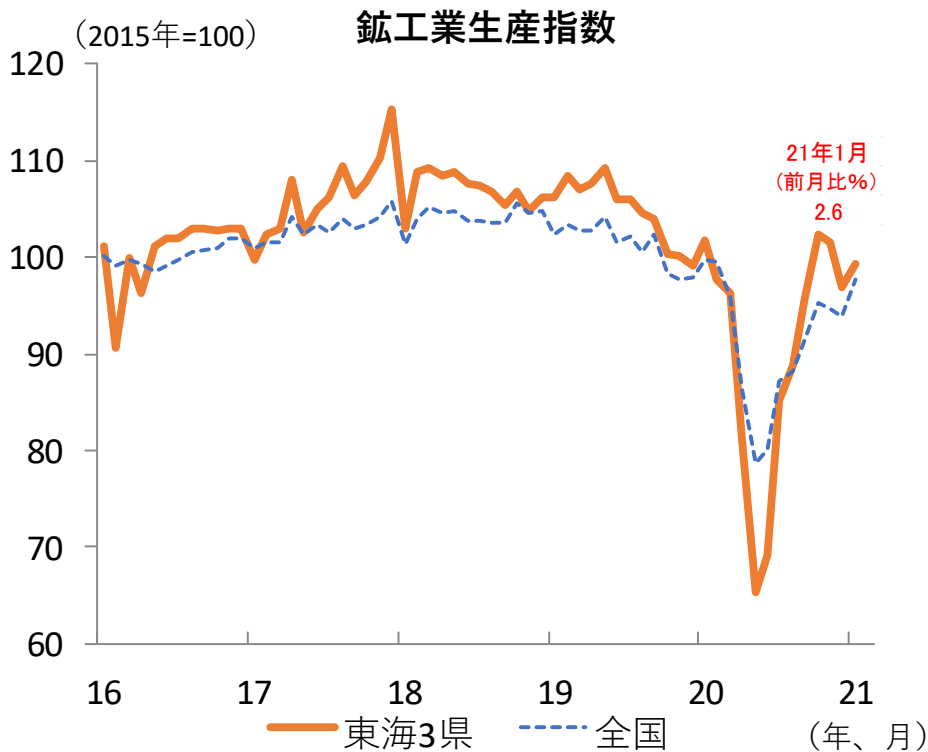
項目	現状
景気全般	新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直し基調(↓:持ち直している)
生産	足踏み状態
輸出	足踏み状態
設備投資	弱含んでいる
雇用	弱い動きとなっている
賃金	減少している(↓:弱い動きとなっている)
個人消費	持ち直している
住宅投資	弱含んでいる
公共投資	横ばい圏で推移している

注: ()内は前月からの変化の方向と前月判断

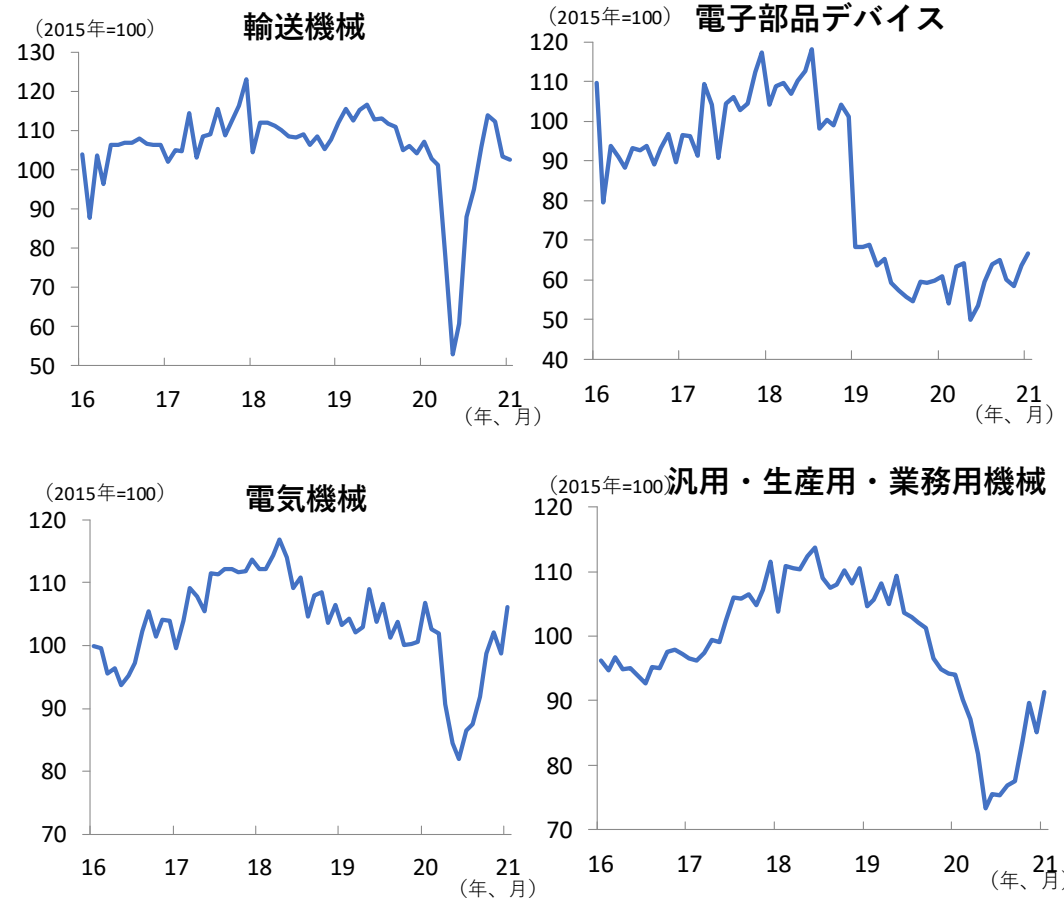
# 生産

鋳工業生産(東海)は足踏み状態。1月は前月比+2.6%と3ヶ月ぶりに増加した。

輸送機械が3ヶ月連続で減少したが、電子部品デバイス、汎用・生産用・業務用機械、電気機械が増加した。



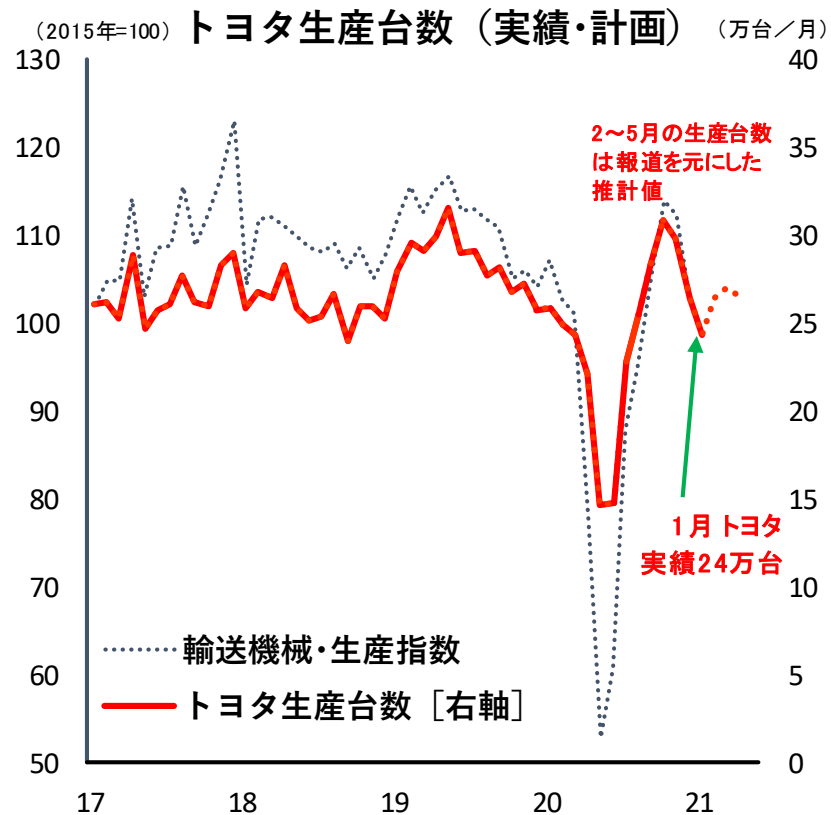
(出所) 経済産業省「鋳工業生産動向」



## 生産（トヨタ生産計画、金属工作機械）

1月のトヨタ生産台数（弊社季節調整値）は24万台と前月から減少した。年度内は2月、3月と持ち直しが見込まれる。

1月の金属工作機械受注は、前年比-2.4%と3ヶ月ぶりに前年を下回った。海外向けは同+6.5%と2ヶ月連続で増加したが、国内向けは同-18.5%と大幅減。中国向けは増加したが、米国向けの減少が続いた。



## 金属工作機械受注



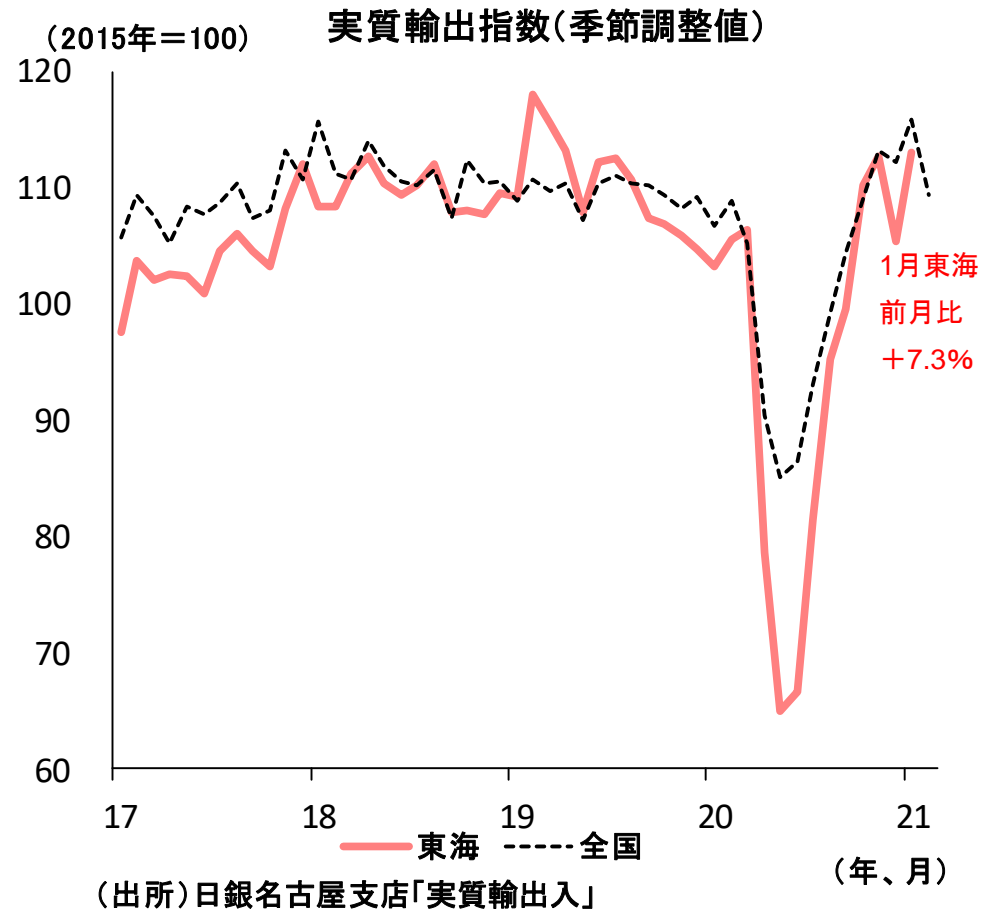
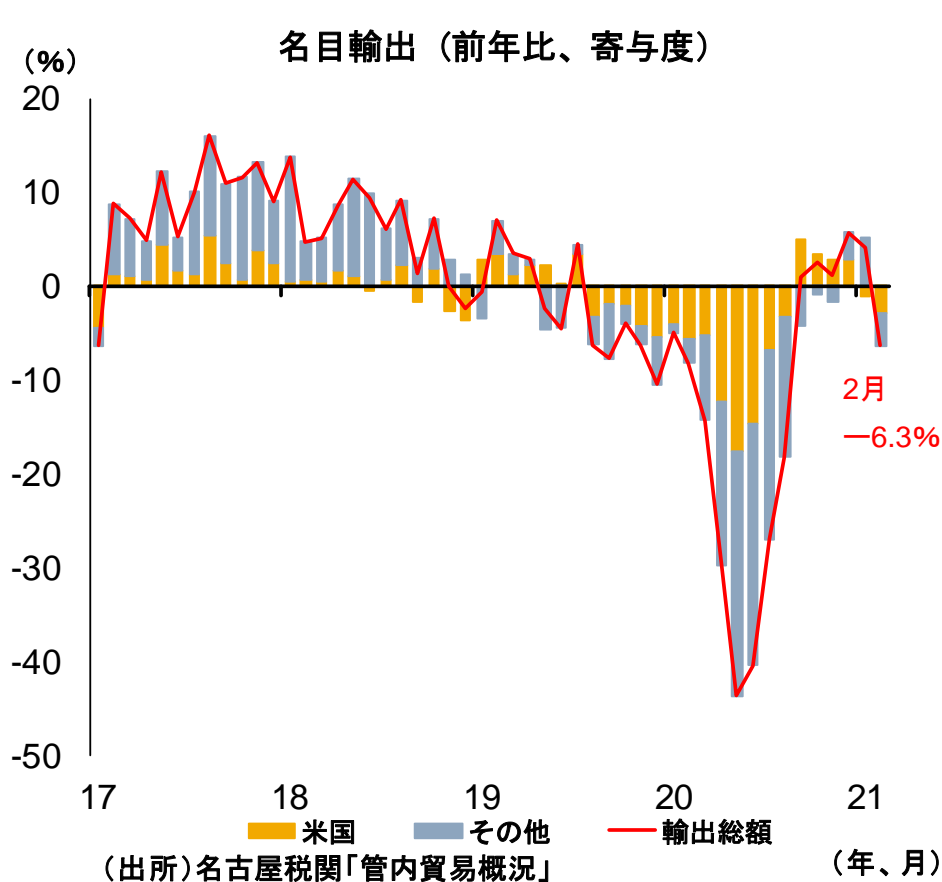
(注)トヨタ生産台数の季節調整は当社、輸送機械・生産指数は東海3県 (年、月)  
(出所) 中部経済新聞、中部産業局「鋳工業生産指数」、鉄鋼新聞

(出所) 中部経済産業局「金属工作機械受注」

# 輸出

2月の名目輸出額は前年比-6.3%と6ヶ月ぶりに減少した。米国向けが2ヶ月連続で減少し、アジア向けも3ヶ月ぶりに減少した。業種別では、自動車、航空機類が減少した。

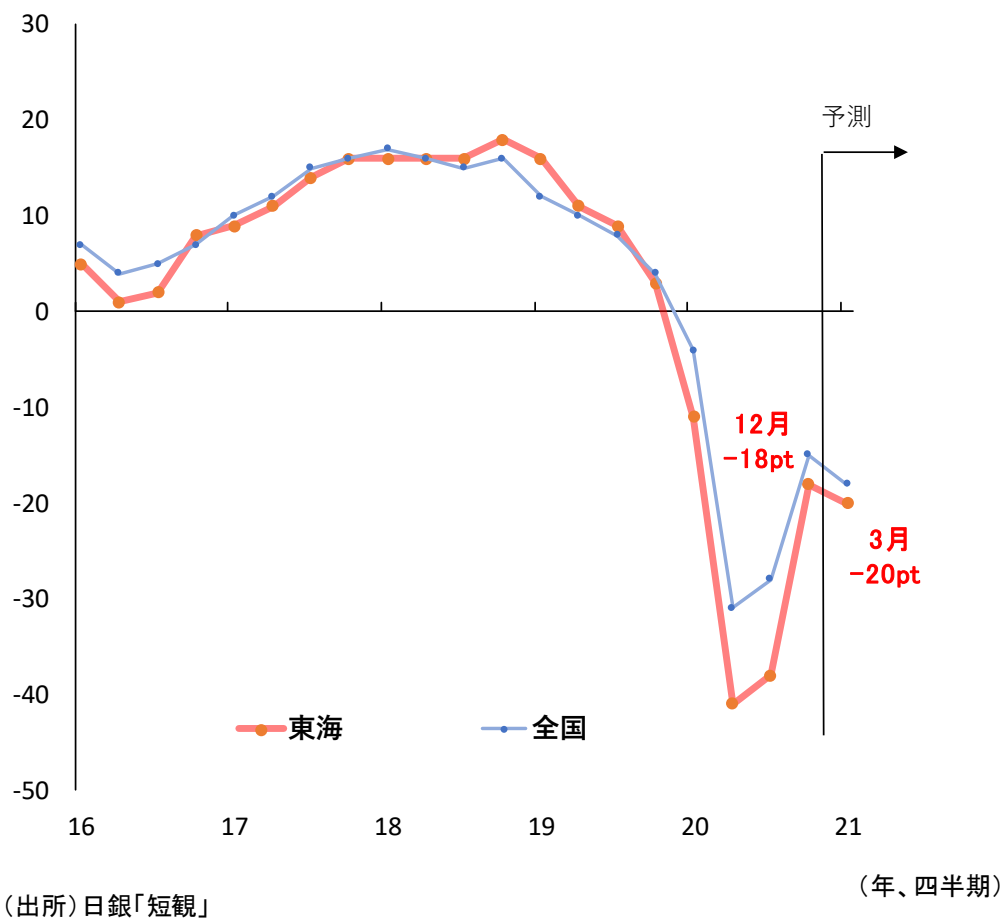
1月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+7.3%と2ヶ月ぶりに上昇した。



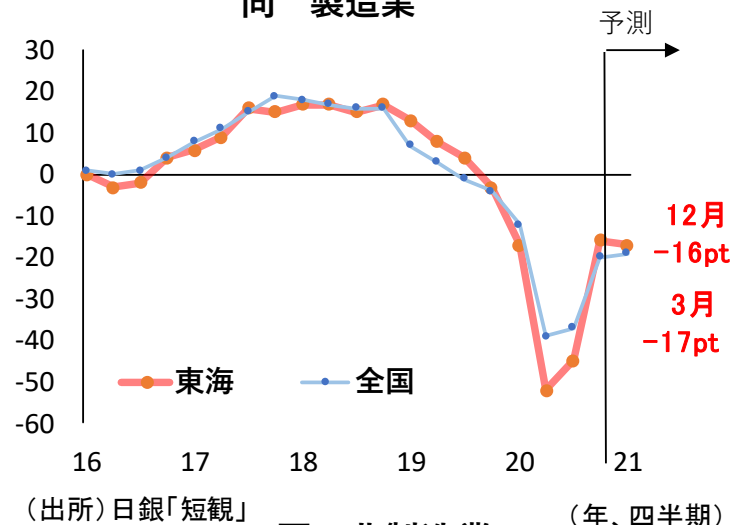
# 企業景況感(日銀短観) ※以下は12/14公表の12月調査。3月調査は4/1公表予定

日銀短観12月調査の業況判断DIIは全産業で-18ptと改善した。製造業は-16pt、非製造業が-19ptと改善した。先行きは、製造業、非製造業ともに小幅悪化が見込まれている。

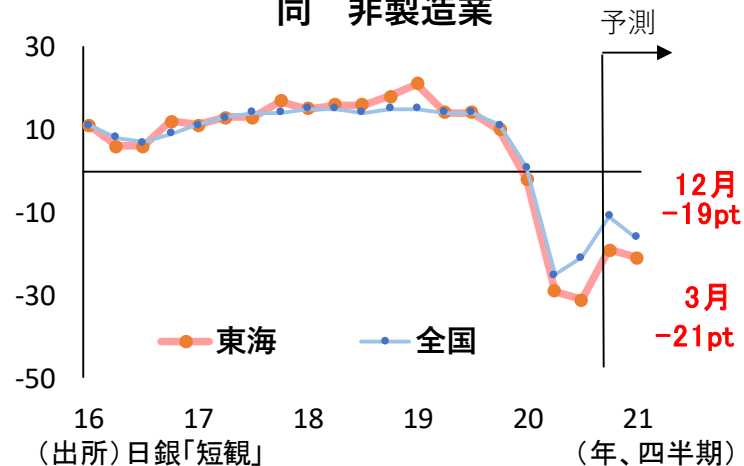
短観 業況判断DII「全産業」



同 製造業

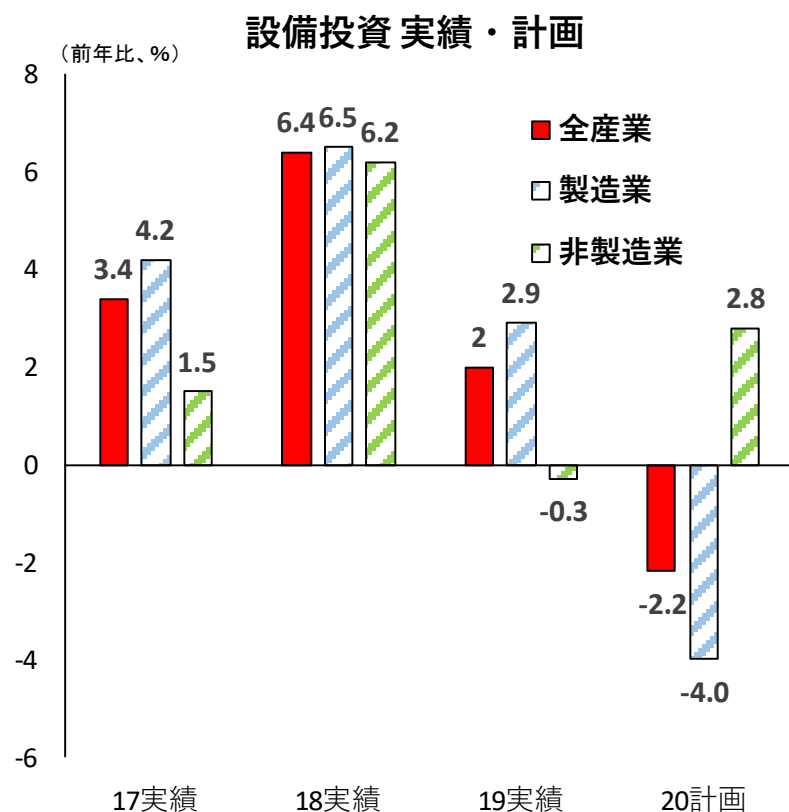


同 非製造業



# 設備投資 ※以下は12/14公表の12月調査。3月調査は4/1公表予定

日銀短観12月調査によると、20年度の設備投資計画は、非製造業が前年比+2.8%と下方修正ながら増加を見込む一方、製造業は同一-4.0%と下方修正かつ減少を見込む。不動産、小売が大幅増、非鉄金属、その他輸送用機械が大幅減の計画。全産業では同一-2.2%と9月調査から下方修正となった。



**設備投資額 (前年比%)**

	19年度 実績	20年度 計画		
		今回	9月調査時 [差異]	
全産業	2.0	-2.2	-1.3	-0.9
製造業	2.9	-4.0	-2.9	-1.1
非製造業	-0.3	2.8	3.4	-0.6

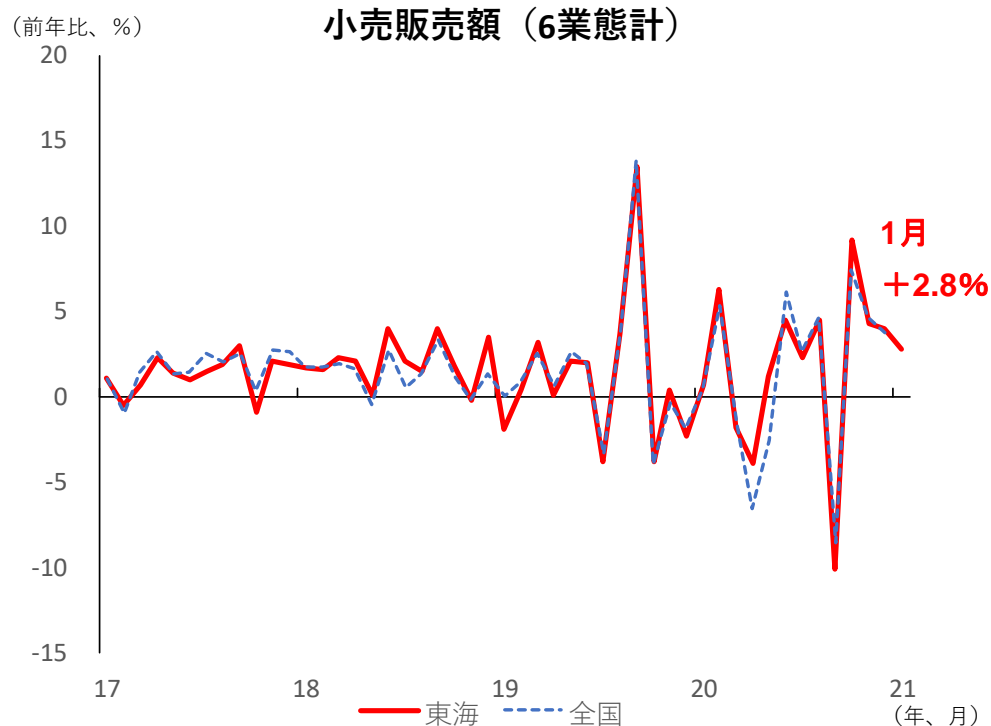
(出所)日銀名古屋支店「短観」

(年度)

# 個人消費(小売売上、自動車販売)

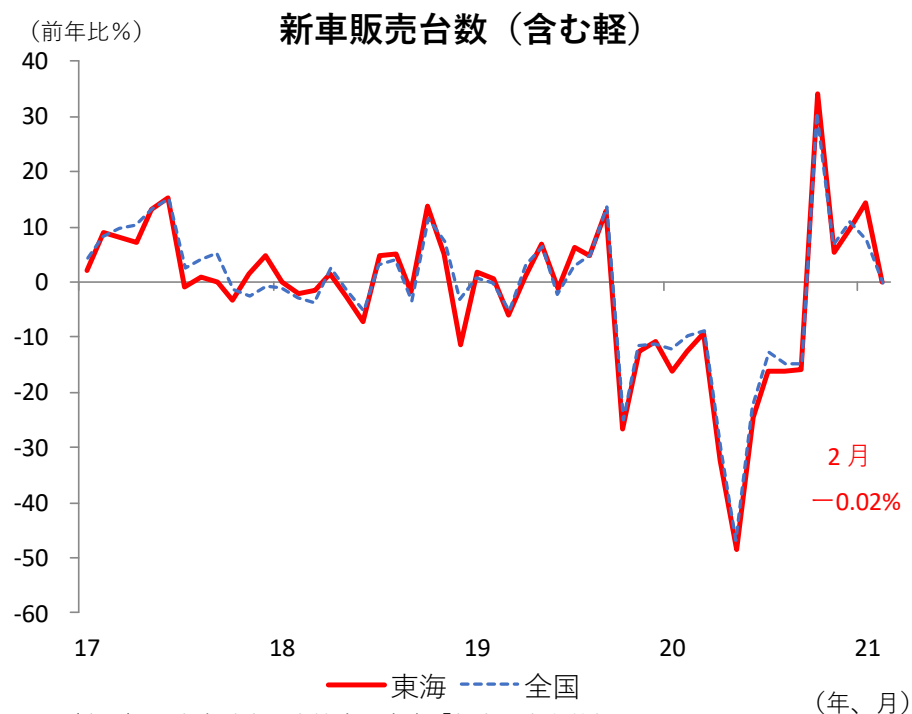
1月の小売販売額は前年比+2.8%と4ヶ月連続で増加した。

2月の新車販売は前年比-0.02%と小幅ながら5ヶ月ぶりに減少した。普通車、軽自動車が増加したが、小型車が減少した。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



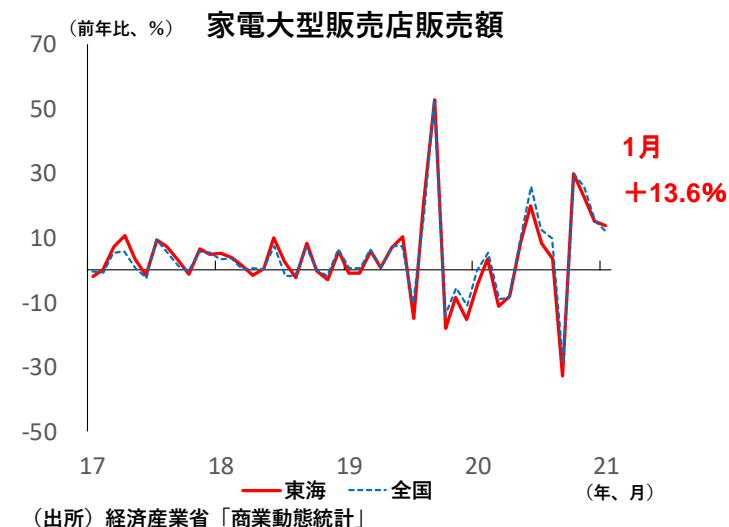
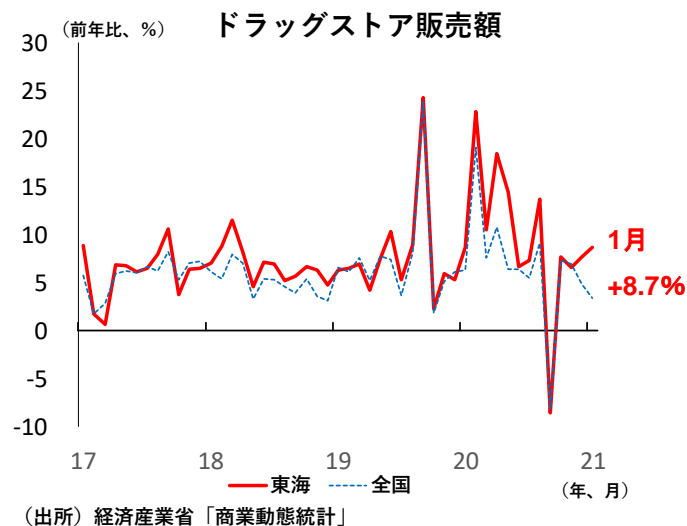
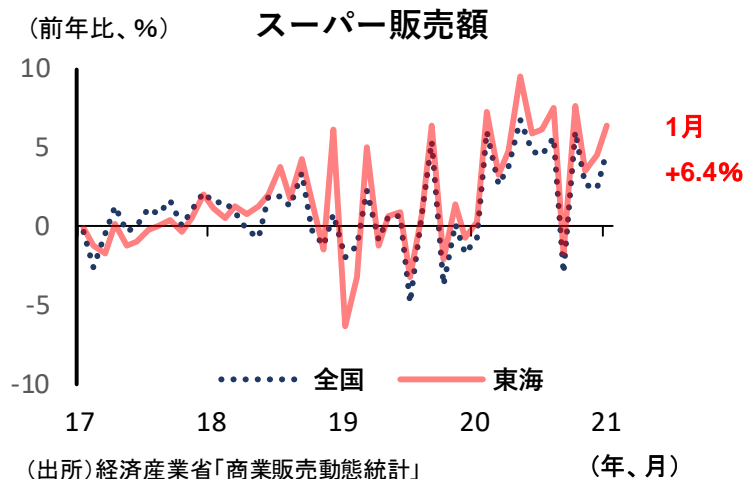
(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」



# 個人消費(業態別)

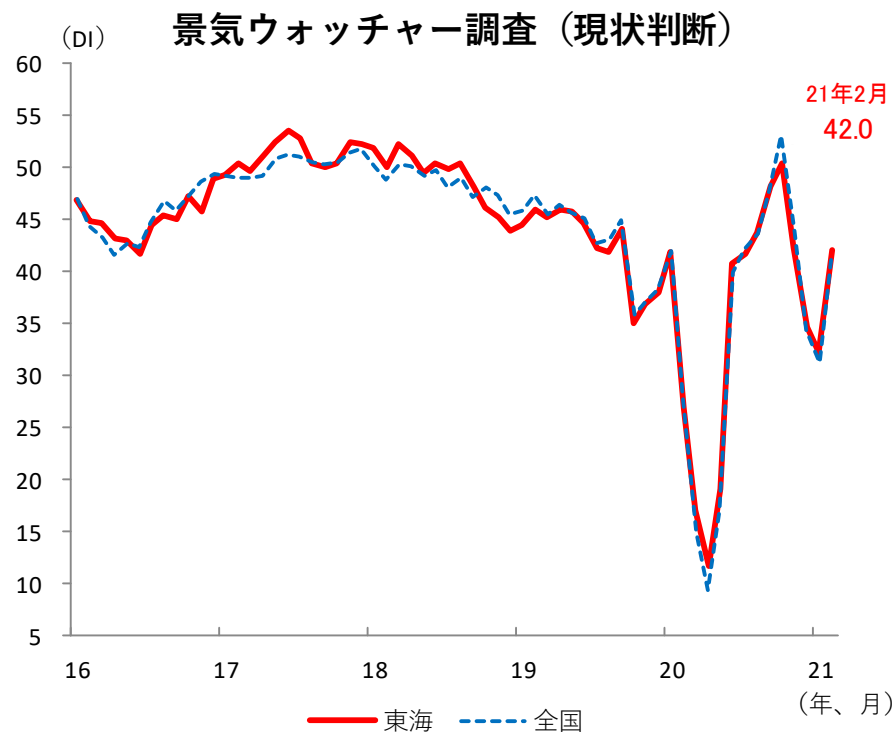
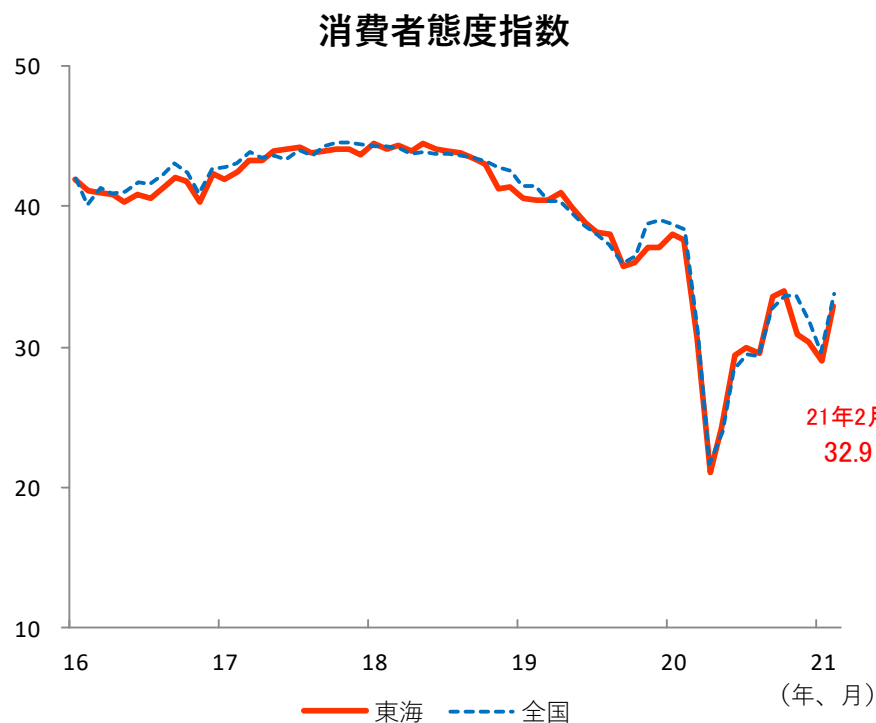
東海の小売販売額を業態別に見ると、百貨店、コンビニは減少、スーパー、ドラッグストアは増加した。2月の百貨店売上(名古屋)は前年比-13.9%となった。前年同月がコロナ禍で低水準であったため前年比の減少幅は縮小したが、依然減少が続いている。



# マインド・景況感

2月の消費者態度指数は32.9(前月差+4.0%pt)と4ヶ月ぶりに上昇した。

2月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、42.0(前月差+9.7%pt)と4ヶ月ぶりに上昇した。緊急事態宣言下ではあるが、悪化方向の回答が減少した。



(注)東海の季節調整値はMURC試算

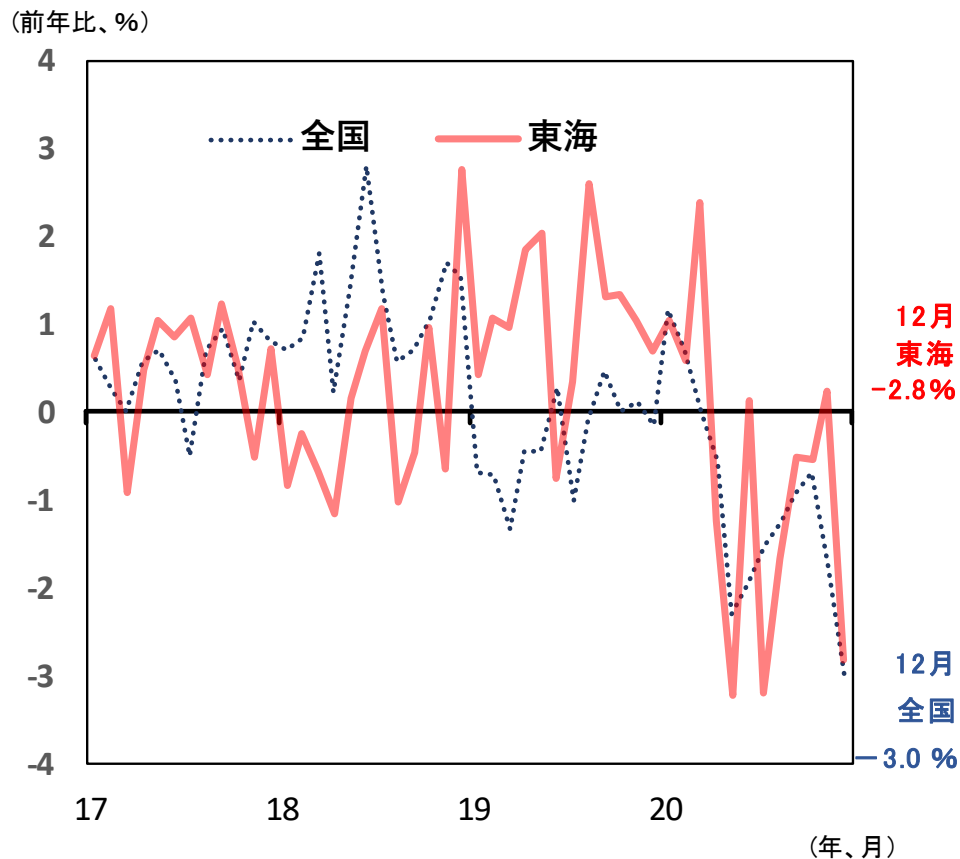
(出所)内閣府「消費動向調査」

(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

# 賃金・雇用

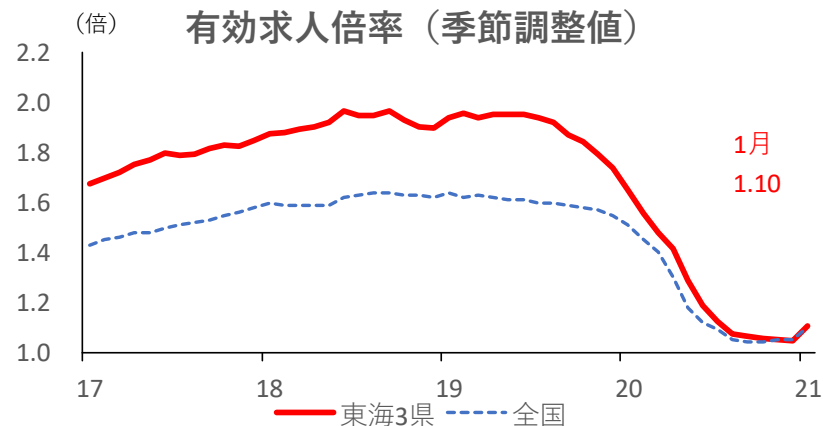
12月の名目賃金指数は、前年比-2.8%と2ヶ月ぶりに低下した。特別給与の減少が影響した。  
 1月の求人倍率は1.10と前月比小幅上昇。求人数が増加し、求職者数が減少した。  
 20年第4四半期の失業率は2.5%と4四半期ぶりに低下。就業者数は2四半期ぶりに減少した。

### 賃金上昇率



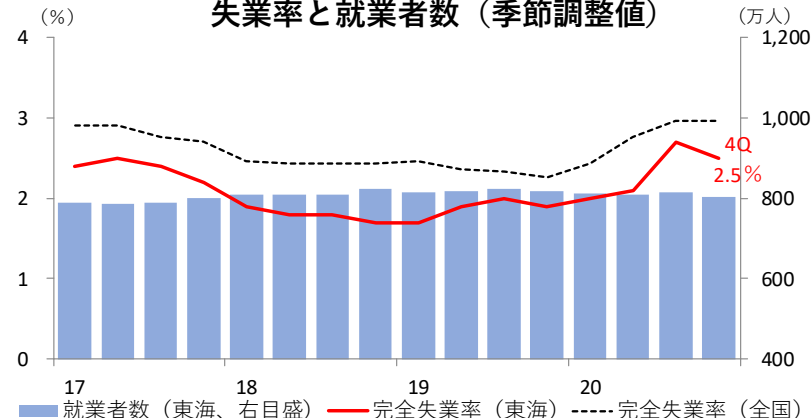
(出所) 名目賃金指数(所定内給与)、愛知、三重、岐阜の常用雇用者指数よりMURC作成

### 有効求人倍率 (季節調整値)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

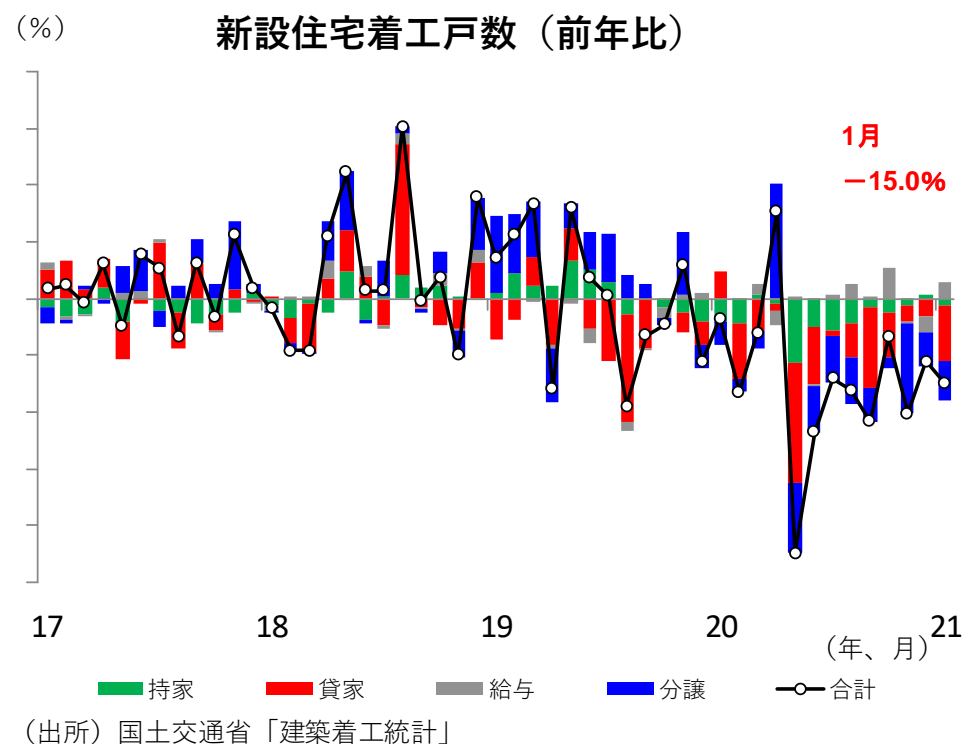
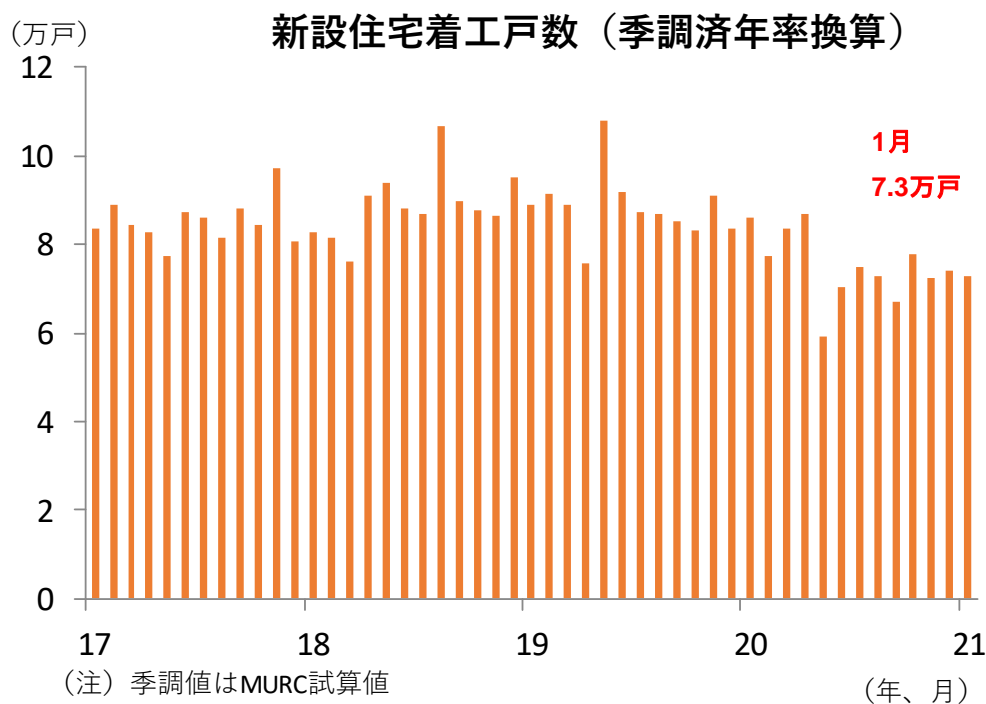
### 失業率と就業者数 (季節調整値)



(出所) 総務省「労働力調査」

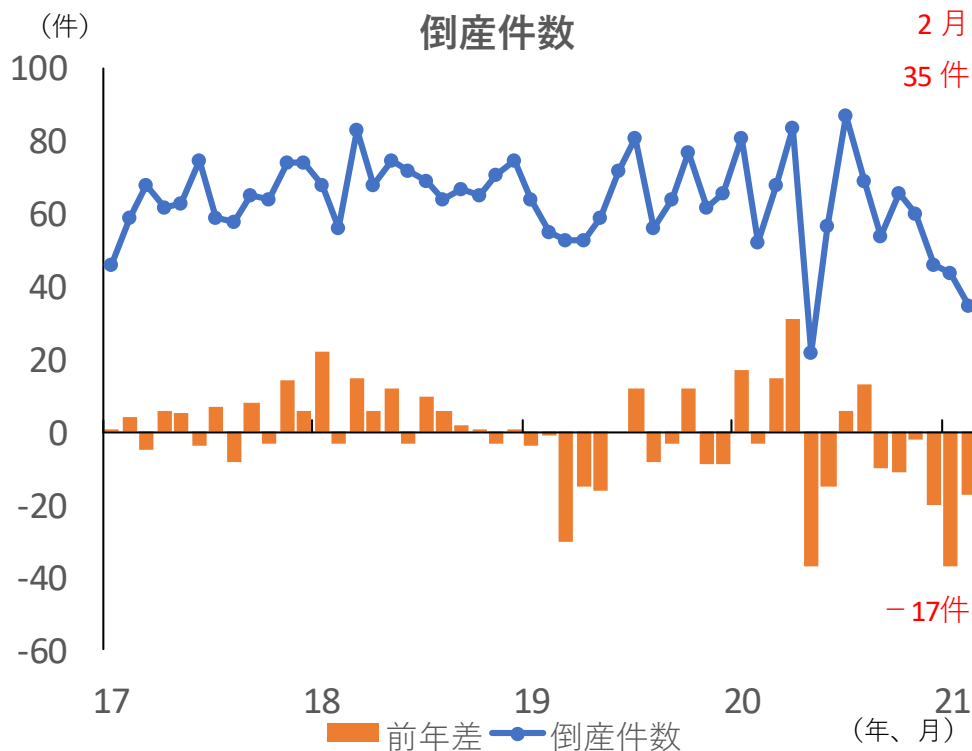
# 住宅投資

住宅着工は均してみると弱含み。1月は季調・年率で7.3万戸と2ヶ月ぶりに前月比で減少、原数値では前年比-15.0%と9ヶ月連続で減少した。持家、貸家、分譲いずれも減少した。



# 倒産

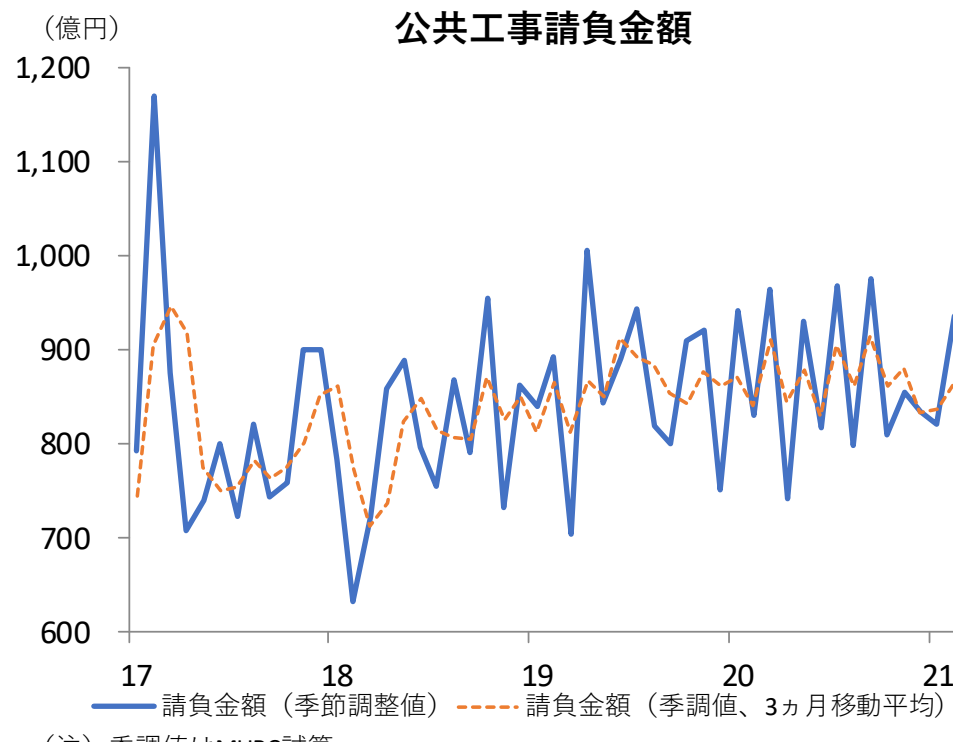
2月の倒産件数は前年差で6ヶ月連続で減少。  
件数は、低水準で推移している。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

# 公共投資

公共投資は横ばい圏で推移している。



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください